

# いわて



明日にトライ!

～いわてのチャレンジャーたち～

岩手モリヤ  
株式会社  
高品質のモノづくりは  
人材育成と機械化にあり



## 事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

### 8月 —AUGUST—

24日 いわて食の大商談会2016(盛岡市)  
25日～26日 次世代マネージャー  
養成講座(八幡平市)

### 9月 —SEPTEMBER—

7日～8日 いわて特産品コンクール(盛岡市)  
8日～9日 原価管理とコストダウン講座(盛岡市)  
14日～15日 中堅マネージャー・後継者養成講座(八幡平市)  
15日～16日 いわてアパレル企業  
ビジネスマッチングフォーラム(東京都)

### 10月 —OCTOBER—

19日～20日 ISO9001内部監査員養成講座(金ケ崎町)  
25日～26日 ソフトウェア開発企業  
ビジネスマッチング交流会(盛岡市)

- 平成28年度 いわて商談会開催のご案内 4
- 高付加価値型ものづくり技術振興雇用創造プロジェクトのご案内 4
- 第1回「加速器関連産業参入セミナー」のご報告 5
- ご利用下さい! 岩手県知財総合支援窓口 5
- 新職員紹介 5
- 平成27年度 顧客満足度調査結果のご報告 6
- 設備貸与制度のご案内 7
- いわて特産品コンクール開催のお知らせ 8
- 第9回いわて特産品フェア開催のご報告 8
- 第5回いわての工芸品見本市開催のご報告 8



# 高品質のモノづくりは 人材育成と機械化にあり

## 久慈市 岩手モリヤ株式会社

岩手県北は世界的有名ブランドも注目する縫製業の集積地。この地で創業した岩手モリヤ株式会社は、生産拠点の海外移転など厳しい時代も一貫して人材育成に取り組んできた。メイド・イン・ジャパンの復権が確実となった今、新たな切り口での産業振興にも取り組む。

### 素材本来の風合いを生かすため先端技術をいち早く導入

岩手県北地域には繊維工業(縫製業)が数多く集積し、国内有数のモノづくり地域となっている。その数は県北地域全域で約30社、久慈地域だけでも約14工場にのぼる。国内製造業の空洞化が懸念されて久しい中、この数字は驚くべきものである。

「縫製業は労働集約産業であり、技術力向上のための人材育成は必須です」。その言葉通り、設立以来地元での採用を実施してきた久慈市の岩手モリヤ株式会社。森奥信孝社長は、元々は東京に本社を置く洋装メーカーの地方工場であった同社を昭和63年に現地法人化。「女子型企业」と呼ばれる縫製業で、女性たちが技術力を生かし長く働ける環境の整備に努めてきた。結果、同社で国家検定技能士の資格取得者は従業員の4割を占め、取引先である国内外の高級婦人服メーカーからはグレーディング(服のサイズ変更)も一任されるなど、品質には絶大な信頼が寄せられている。

人材育成に取り組む一方、同社は「人の経験・勘・テクニックに頼らないモノづくり」を掲げて機械化を積極的に推進。地域でいち早くCAM(自動裁断

機)を導入したのを契機に、生地伸縮率を計測する生地試験設備をはじめ大型スポンジマシンやCAD等々、前処理工程に先端システムを順次取り入れてきた。

人材育成と機械化は一見、相反する事象だ。しかし「要は簡単な工程は機械に任せて、技術をより高度なレベルに持っていくこと」と森奥社長。同社の機械化とは、生産性ではなく安定した品質を極めるためのものであるという。それは裁断後の縫製部門も同様で、シワを作らないためにスウェーデン製のハンガーシステムを導入、まとめ工程も完全内製化させた。このような一貫生産は高品質で知られるイタリアの縫製工場では一般的であり、非常に合理的でもあると森奥社長。「外注に出すタイムラグがなくなり、以前は出荷までに一週間かかっていたものが、縫い上がり即日出荷も可能になった」と話す。さらに震災後は一部機械を刷新して省電力に取り組み、従来比40%もの大幅な電力ダウンに成功した。

環境整備は社内のみではない。平成27年6月1日には森奥社長が発起人の一人となり「一般社団法人北

いわてアパレル産業振興会」が設立され、さらに7月には岩手県と東京の学校法人文化学園が連携協定を締結、同振興会を核に県北の縫製業振興もスタートした。さらに今年は振興会会員の企業従業員による「仕立て屋女子会」が発足、10ヶ月をかけてデザインやパターンを研修しオリジナル服の製作に取り組むという業界初の計画が始まっている。

価格から品質へと価値観がシフトしつつある近年、世界的にも「メイド・イン・ジャパン」製品の評価は高まる一方である。「縫製とは人の技術」と徹底して地域にこだわってきた同社、そのポテンシャルを最大限に生かす時代がいつにやってきた。



代表取締役  
森奥信孝



- ① 生地試験設備では表素材の伸縮変化を1日かけて確認しデータ化。縫製工程での生地変化を事前に把握することで寸法通りのパターン化に成功。
- ② 生地風合いを再現するスポンジマシン。
- ③ 最新のCAM。テレビモニターで柄などを確認しながら正確に裁断する。
- ④ CADでは元型をベースにグレーディングも行う。メーカーごとのグレーディングルールも提供されているのは信頼の証し。
- ⑤ 布を重ねてシワが出来ないようにするハンガーシステム。

### ✂ 岩手モリヤの技術

高品質な服づくりは、生地本来の風合いを生かす前処理に加え正確な裁断が基本となる。同社ではCAM導入の前提条件として、縫製工場では前例の少ない生地試験設備を設置している。襟や身頃、袖などパーツごとの柄が組み立て後にピッタリと合う見事な仕上がりがその成果。



### ✂ 岩手モリヤの技術

技術力を最大限引き出すために労働力の省力化も推進。かさばる仕様書はタブレット端末に一括し工程や進捗状況の確認をスピーディにした。

### いわて産業振興センター活用事例

縫製企業向け商談会「アパレル企業ビジネスマッチングフォーラム」や製品展示会「JFW Japan Creation」に参加。スタートした産学官連携の縫製業振興事業への側面支援を引き続き希望している。

### 企業データ

会社名 岩手モリヤ株式会社  
本社 岩手県久慈市夏井町大崎13-3-3  
電話 0194-53-5327  
代表者 森奥 信孝

### CORPORATE DATA

創業 昭和63年(1988)5月  
従業員 93名  
業種 高級婦人既製服縫製  
URL <http://www.ginga.or.jp/iwatemoriya/>

# 平成28年度 いわて商談会 開催について

センターでは、積極的に取引拡大をめざす県内外の受・発注企業が一堂に会し、商談及び情報交換をすることにより相互理解を図り、新規取引拡大の一助としていただくため標記商談会を開催します。(センター登録企業様へは詳細につきまして、別途郵送でご案内させていただきます)。

県内外からの多数のご参加をお待ちしております。

<b>開催日時</b>	<b>平成28年11月10日(木)</b> 商談会(13:00~17:45) / 懇親会(18:15~19:45)	<b>参加料金(予定)</b>	<b>商談会</b> ・いわて産業振興センター賛助会員……1名につき3,000円 ・いわて産業振興センター非賛助会員……1名につき6,000円 ・岩手県外企業……1名につき8,000円 ・発注企業……無料招待
<b>会場</b>	<b>ホテルシティプラザ北上(北上市川岸1-14-1)</b>	<b>懇親会</b> ・受注企業……1名につき5,000円 ・発注企業……無料招待	
<b>参加対象</b>	<b>岩手県内外の受発注登録企業及び県外発注企業</b> ( 鋳造、鉄骨・製缶、機械加工、板金、プレス、樹脂、 表面処理、電子機器、金属材料商社等 )		
<b>定員</b>	発注企業 60社 / 受注企業 180社		

**申込方法** センターホームページより申込様式をダウンロードのうえ、電子メールにてお申込みいただけます。

**申込期限** **平成28年9月9日(金)**

**お問い合わせ先** (公財)いわて産業振興センター ものづくり振興グループ 取引支援チーム 鎌田・晴山  
電話：019-631-3822 / FAX：019-631-3830 / E-mail：torihiki@joho-iwate.or.jp

## 高付加価値型ものづくり技術振興雇用創造プロジェクトの紹介

岩手県は、岩手県の産学官が連携し、ものづくり産業振興の戦略業種である自動車・半導体・医療機器関連産業等を共通して支える「基盤技術企業群」における技術力・開発力の強化を促進し、サプライチェーン全体の強化拡大・付加価値創造による長期安定的な雇用の創出に繋げる「高付加価値型ものづくり技術振興雇用創造プロジェクト」(厚生労働省「戦略産業雇用創造プロジェクト」採択事業)を今年4月から平成30年度までの3年間実施します。

当センターでは、本プロジェクトの実施機関の一つとして、以下の支援メニューを実施します。具体的な事業内容は各支援メニューの募集時期に当センターのホームページに順次掲載しますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

### いわて産業振興センターの支援メニュー

番号	支援メニュー	支援内容	H28年度 募集時期
1	コンソーシアム型事業創出支援	2社以上の県内企業の連携体による試作開発及びその評価分析に係る費用を助成	締め切りました
2	大企業向けニーズ・シーズマッチング会開催	大規模企業グループに向け、県内企業が出向いて技術紹介を行う展示商談会を開催(会場は産振センターで用意)	8月頃募集予定
3	展示会出展支援	素材・加工・装置等で特色を持つ県内企業により「いわて・ものづくりパビリオン」を組み、首都圏等で開催される専門展示会に出展	CEATEC JAPAN 2016 (10月4日~7日開催) 締め切りました 第46回ネプコンジャパン (1月18日~20日開催) 10月頃募集予定
4	認証取得支援	・企業が事業拡大を進める際有益な各種認証取得を支援 ・取得を目指す資格種別により、集合研修型セミナーと個別指導を組み合わせ実施	集合型研修(ISO9001,JISQ9100) 8月頃から順次、募集予定 個別指導に係る助成募集中 ※7月28日締め切り予定

**お問い合わせ** 研究開発チーム 熊谷・藤澤 電話：019-631-3825 / FAX：019-631-3830  
Mail：kenkyu@joho-iwate.or.jp / URL：http://www.joho-iwate.or.jp/koufuka/

## 6月9日(木)ホテルニューカーリーナを会場に平成28年度第1回「加速器関連産業参入セミナー」を開催しました

当センターでは、岩手県から加速器関連産業参入促進支援事業を受託し実施しております。本事業の一環として、加速器関連産業に関わる産学官の交流・連携機会の創出等を行う「いわて加速器関連産業研究会」加速器関連参入セミナーを開催したものです。

セミナーでは次のとおり講演を行いました。

- 講演 1** 「超伝導加速空洞用縦型電解研磨装置の開発」 [講師]東日本機電開発株式会社 代表取締役 水戸谷剛氏 / (株)WING 代表取締役 高橋福巳氏
- 講演 2** 「加速器関連産業参入に求められること」 [講師](株)オオツカ 代表取締役 大塚美智夫氏
- 事業紹介** 「ILC・加速器産業参入支援事業」 [講師]東経連ビジネスセンター コーディネーター 森由喜男氏
- 講演 3** 「県内中小企業のILCへの参入について」 [講師]岩手県立大学 学長 鈴木厚人氏

参加人数は、産学官合わせて127名となり、参加者からは大変参考になった、加速器関連産業への参入の心構えが出来たなど非常に有益であったとの声が多く寄せられました。セミナー後の交流会では、県内企業の加速器関連産業への参入につながる活発な意見交換がなされ、情報発信・関係者の交流の場となりました。「いわて加速器関連産業研究会」では活動内容に賛同して下さるみなさまを会員として幅広く募集しております。入会のお申し込みはホームページからどうぞ。

いわて加速器関連産業研究会 ▶ <http://www.joho-iwate.or.jp/torihiki/ilc/>

### お知らせ

## ご利用下さい! 岩手県知財総合支援窓口

**秘密厳守** 知的財産(=特許、実用新案、意匠、商標、著作権、ノウハウ・営業秘密など)のことなら岩手県知財総合支援窓口にお任せください!知的財産の「出願・登録」、「侵害対応」、「知的財産の管理」、「知的人材の育成」、「知的財産を活用した経営」など知的財産に関するすべての相談にワンストップで応じます。

**相談無料**



**知財専門家による無料相談会** ○外部窓口相談会(28年7月から9月までの開設分) ※いずれの会場も相談時間は午後1時から4時までです。

広域名	相談会場	開設日	担当弁理士
県北	県二戸地区合同庁舎	9月14日(水)	富沢 知成(富沢特許事務所)
	北上市基盤技術支援センター	8月3日(水)	齋藤 昭彦(あきた知的財産事務所)
県南	県南技術研究センター	8月17日(水)	西澤 利夫(西澤国際特許事務所)
	奥州市物産技術交流センター	9月21日(水)	齋藤 昭彦(あきた知的財産事務所)
沿岸	宮古市産業支援センター	7月27日(水)	西澤 利夫(西澤国際特許事務所)
	釜石・大槌地域産業育成センター	8月24日(水)	丸岡 裕作(丸岡特許事務所)
	大船渡商工会議所	9月28日(水)	丸岡 裕作(丸岡特許事務所)

岩手県発明協会 TEL：019-634-0684 又は 全国共通ナビダイヤル TEL：0570-082100  
ご利用時間 9:00 ~ 17:15 ※12:00 ~ 13:00(休憩時間) 定休日 土・日、祝日、年末年始

岩手県知財総合支援窓口は、(独)工業所有権情報・研修館からの請負事業として、(一社)岩手県発明協会、(地独)岩手県工業技術センター、(公財)いわて産業振興センターが共同で運営しています。

### お知らせ

## 新職員紹介

センターに新たに勤務しているコーディネーターをご紹介します。

<p><b>よろず支援拠点</b> コーディネーター <b>伊藤 玲子</b> 社会保険労務士 / 窓口相談(得意分野: 雇用・労務、人事戦略)</p>	<p><b>よろず支援拠点</b> コーディネーター <b>田中 紳也</b> 窓口相談(得意分野: 経営全般、金融)</p>
<p><b>産業支援グループ</b> 総合支援チーム 販路開拓プロモーター(首都圏駐在) <b>畑中 宗紀</b> 被災中小企業者の販路の拡大支援</p>	<p><b>産業支援グループ</b> 新事業創出チーム コーディネーター <b>山火 弘敬</b> いわて農工商連携ファンド・希望ファンド事業の交付先事業者に対する指導・助言</p>

# 平成27年度顧客満足度調査結果

## 1. 調査目的

センターが提供したサービスへの満足度及びその理由等の調査を行い、その結果をサービス内容・方法の検討に資することにより、センターのサービス内容の充実及び質の向上を図ることを目的とする。

## 2. 調査概要

- (1)実施時期 ..... 平成28年5月9日(月)～6月3日(金)
- (2)対象者 ..... 平成27年度内に当センターの提供するサービスをご利用頂いた企業・個人等
- (3)項目 ..... サービス利用の満足度(5段階)及びその理由(複数回答可)、センターに対する要望・意見
- (4)その他 ..... 次の事業については、既にアンケートを実施済(※下記についての満足理由は調査していない)



- ①ものづくりアカデミー
- ②北いわて産業支援事業(商談会、交流会及び展示会支援)
- ③異業種交流ネットワーク形成事業
- ④いわて希望ファンド(中小企業等試験販売事業)
- ⑤物産販路開拓事業
- ⑥商談会(発注・受注)
- ⑦工程改善指導
- ⑧半導体関連産業取引あっせん事業
- ⑨医療機器関連産業参入促進事業(交流会及び展示会支援)
- ⑩ソフトウェア開発業務取引支援事業(交流会)
- ⑪展示会出展支援(機械要素技術展出展支援事業)
- ⑫次世代モビリティ開発拠点形成事業
- ⑬新素材・加工産業集積促進事業

## 3. 調査結果

- ①総合満足度 ..... **4.13**(昨年度 4.23)※中期経営計画における**目標値4.00**
- ②回答率 ..... **59.9%**[1,259/2,102](昨年度 67.9%)

## 4. 満足度内訳

事業名	満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	計
総合支援事業	4.31	159	115	44	7	0	325
新事業・新分野進出支援事業	4.07	128	84	39	22	8	281
設備貸与等事業	4.79	43	7	2	0	0	52
取引市場開拓支援事業	3.98	150	197	137	11	1	496
研究開発支援事業	4.15	45	38	16	5	1	105
全体	4.13	525	441	238	45	10	1,259

## 5. 満足理由および不満理由の各割合

### 総合支援事業

満足理由(総合支援) 計61件

- フォローアップが充実 3件
- 対応が迅速 9件
- 対応が親身 30件
- 内容が良かった 19件

不満理由(総合支援) 計3件

- フォローアップがない 1件
- 内容が良くなかった 1件
- 対応が遅い 1件

### 新事業・新分野進出支援事業

満足理由(新事業) 計27件

- フォローアップが充実 4件
- 対応が迅速 5件
- 対応が親身 11件
- 内容が良かった 7件

### 設備貸与等事業

満足理由(設備貸与等) 計43件

- フォローアップが充実 4件
- 対応が迅速 12件
- 対応が親身 20件
- 内容が良かった 7件

### 取引市場開拓支援事業

満足理由(取引支援) 計4件

- 対応が迅速 1件
- 内容が良かった 1件
- 対応が親身 2件

### 研究開発支援事業

満足理由(研究開発) 計19件

- 対応が迅速 4件
- 対応が親身 8件
- 内容が良かった 7件

不満理由(研究開発) 計1件

- フォローアップがない 1件

### 事業全体

満足理由(全事業) 計154件

- フォローアップが充実 11件
- 対応が迅速 31件
- 対応が親身 71件
- 内容が良かった 41件

不満理由(全事業) 計4件

- フォローアップがない 2件
- 対応が遅い 1件
- 内容が良くなかった 1件

### 分析結果

全体の満足度は、中期計画の目標である4.00についてはクリア出来たものの、昨年度4.23からはやや下降し4.13となった。また回答率に関しては、大規模な商談会や発表会における回答率が低くなったことから、全体の回答率が低下したと思われる。今後アンケート回収の方法については改善が必要である。

次に「満足・やや満足」の理由の割合を見てみると、全体で「職員の対応が親身」とする回答の割合が47.0%と高く、顧客に寄り添った支援が評価される一方で、「フォローアップが充実」の回答割合は5.3%と低調であり、継続した取組みや支援が必要であることが窺える。

また、少数ではあるが「不満・やや不満」といった回答もあり、その内容としてはマッチングの不調に起因すると考えられるものもあった。

全体を通して、「今後とも宜しくお願いします」「今年も利用します」といった声が非常に多く、当センターが提供する事業・サービスへの期待と関心のさらなる高まりが感じられる。

## ご案内

# 平成28年度 設備貸与制度のご案内

長期

3年～10年

低利

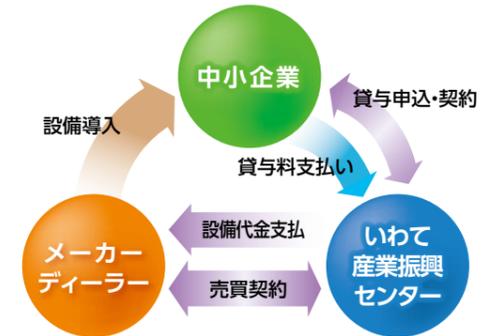
年1.3%～1.7%  
(固定金利)東日本大震災で直接被災した企業は更に-0.1%

無担保

金融機関融資と別枠です

制度のしくみ

この「設備貸与制度」は、岩手県内の中小企業の皆様が必要とする機械、設備をセンターが購入し、長期・低利で貸与する公的制度です。



区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)
貸付期間	3年～10年(導入設備耐用年数上限)(右記条件3を満たせば10年以内で2年延長可能)	3年～10年(導入設備耐用年数上限)(右記条件3を満たせば10年以内で2年延長可能)
貸付限度額(消費税込)	100万円～1億円(右記条件1を満たせば2億円)	100万円～1億円(右記条件1を満たせば2億円)
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(中古・車両を除く)
保証金	貸与額の10%(右記条件1を満たせば5%)(最終償還時に返済)	—
利息(貸与損料)	年率1.30%～1.70%(固定金利)(お申込企業様の財務内容により決定)(右記条件2を満たせば-0.1%)	—
リース料(月額)	—	5年=1.867%(参考) 7年=1.389%(参考)
連帯保証人	法人:代表者1人 個人不要(経営者保証ガイドラインに準拠)	—

- ### 条件1
- 中小企業新事業活動促進法に基づく計画認定企業(経営革新・異業種連携)
  - 中小企業地域資源活用促進法に基づく事業計画認定企業
  - 農工商等連携促進法に基づく事業計画認定企業
  - いわて希望ファンド、いわて農工商連携ファンド採択企業
  - 自動車関連産業企業
  - 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
  - 県内企業5社以上に下請発注している企業
  - 県内企業への下請発注額が1,000万円以上の企業
  - 今回の設備を設置することで⑥～⑧のいずれかに該当する企業
- ※上記のいずれかの条件を満たせば、2億円まで貸付及び保証金5%対応可能
- ### 条件2
- 東日本大震災で設備又は事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業
- ※上記のいずれかの条件を満たせば、適用利率から0.1%の引下げ及び償還期間2年の対応可能
- ### 条件3
- 商工会及び商工会議所を経由して申込をした企業
- ※上記の条件を満たせば、10年以内において、返済の基準となる耐用年数の期間について2年を超えない範囲内で延長すること可能

※運賃・取付工事は貸付の対象となりますが、建物部分・基礎工事は対象外です。一部、対象とならない業種、設備がございますので詳しくはセンターにお問合せ下さい。

お問い合わせ: 総務・金融グループ TEL: 019-631-3821 FAX: 019-631-3830 <http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi>

# いわて特産品コンクール

出品者  
募集中

[申込締切]

8/25(木)



平成27年度  
岩手県知事賞 希望郷いわて国体土産品部門  
**呑んべえ漬**  
ハコショウ食品工業株式会社



平成27年度  
岩手県知事賞 工芸品・生活用品部門  
**和洋服ほうき**  
有限会社 高倉工芸



平成27年度  
岩手県知事賞 食品部門  
**山葡萄の新芽のピクルス/クローブ**  
ワイルドグレイプファーム



新聞媒体による受賞PR広告



PRパンフレット掲載・配布

岩手県アンテナショップ(東京銀座・大阪・福岡)、物産展、商談会など

●開催日時等

コンクール部門名称	審査会	表彰式
食品部門	9月7日(水)	9月8日(木)
工芸品・生活用品部門	9月8日(木)	

●申込み方法

申込みは、所定の申込書により、郵便又はFAXにより申し込んでください。参加申込書は(公財)いわて産業振興センターホームページからダウンロードできます。  
<http://www.joho-iwate.or.jp/bussan/>

●申込期間

平成28年7月5日(火)～8月25日(木)

主催/いわての物産展等実行委員会・岩手県

申し込み先

**いわての物産展等実行委員会事務局(公益財団法人いわて産業振興センター)**  
〒020-0857 盛岡市北飯岡2-4-26 TEL:019-631-3824 FAX:019-631-3830

報告

## ※ 第9回いわて特産品フェアを開催しました

平成28年6月2日(木)～7日(火)まで、盛岡市パルクアベニューカワトク 7F催事場&ダイヤモンドホール&1階特設会場において、「第9回いわて特産品フェア」を開催しました。

会期中には、雑穀「ひえ」生産日本一!花巻市のご当地グルメ「花巻ひえカレー天そば」の提供や、「岩手県立花巻農業高校特別販売会」、「岩手まるごとおもてなし隊による県産品じゃんけん大会とパフォーマンスショー」が行われました。出店事業者は、食品47社、工芸品19社、合計66社が参加し、そのうち15社が初出店でした。売上16,278千円(速報)となりました。



## 🌀 第5回いわての工芸品見本市を開催しました

平成28年6月1日(水)～3日(金)の3日間、「インテリアライフスタイル」に参加して、東京ビッグサイト西2ホールで「第5回いわての工芸品見本市」を開催しました。

「インテリアライフスタイル」とは、東京から世界へ向けて「ライフスタイルを提案する」インテリア・デザイン市場のための国際見本市で、本年度で26回を数えます。

今年は、南部鉄器、木製品、漆器、裂き織、刺し子等が参加し、バラエティー豊かな岩手の工芸品をPRしました。各企業・組合とも、活発な商談が行われ、充実のうちに会期を終了しました。新しいデザインや製品が集まる、活発で有意義な商談の場となりました。

出展企業【8社・団体】

(株)岩鑄、水沢鑄物工業(協組)、(株)及精鑄造所、(株)幸呼来Japan、(有)夢工房、大槌復興刺し子プロジェクト、(株)シオン、(有)翁知屋

入場者数

3日間合計 **30,049名**(速報)